

イトヨーカドーのCSRアクション

さかなの日の取り組み

毎月3～7日は「さかなの日」



谷川 佑介

マルシェ部鮮魚
マーチャンダイザー

現在、世界での1人当たりの食用魚介類の消費量が増加しているなか、日本人の消費量は減少し続けています。このような状況を踏まえ、水産物の消費拡大に向けた取組を推進するため、水産庁では毎月3～7日を「さかなの日」とし、その中でも11月3～7日を活動強化週間（「いいさかなの日」）と制定しました。水産物は豊富な栄養素が含まれているだけでなく、適切な漁業を行えば持続的な利用が可能となります。

イトヨーカドーは賛同メンバーとして、下記画像のように店舗の総合ステージにて、MEL認証など適切な漁業や、魚を使ったレシピの紹介。魚の栄養素についてかかれた魚の立体媒体を掲示し、お子さまを含めたくさんの方に興味をもって見ていただきました。

イトヨーカドーはこれからも、持続可能な資源調達とお客様の健康促進につながる取組に励んでまいります。



イトヨーカドー赤池店 総合ステージ



魚の立体媒体

関連情報

「さかなの日 | 水産庁」

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/kakou/sakananohi1137.html>